

平成28年度 決算報告

平成28年度の町の決算が9月の定例議会に提出され、一般会計、特別会計それぞれ認定されました。

昨年度は、一般会計が約41億円、特別会計約28億円、水道事業会計約4億円（収益的支出と資本的支出の計）となり、総額約73億円で様々なまちづくりが進められました。

一般会計歳入

歳入決算総額は、44億258万円で前年度に比べて1億6536万円、3.6%減少となりました。

減額になった主な要因は、広域静苑組合の周辺道路整備に対する負担金が減少したことにより分担金・負担金が7357万円、地方消費税交付金が26666万円などになります。

町債は、橋梁長寿命化耐震

補修工事や越生中学校ランチルーム耐震補強工事に伴う借入れで、27年度より5767万円減額になり、将来への負担を増やさないよう努めました。

町税は、13億6747万円で、1.1%増加しました。これは、固定資産税や軽自動車税などの税率が増えたことによるものです。

一般会計歳出

歳出決算総額は、40億9117万円で、前年度に比べて1億7130万円、4.0%減少となりました。これは、総務費で地方版総合戦略の作成が完了したこと、土木費で梅林周辺道路や広域静苑組合周辺道路の工事が減少したことなどによりです。

目的別の主な事業

総務費では、ハイキングのまち宣言式典の開催、町の観光や歴史を風景画とともに紹介する越生百景の刊行、財務諸表の作成に必要な固定資産台帳の整備のほか、防犯対策や交通安全対策を行いました。また、越生駅東口開設に向けて、鉄道事業者と町との間で基本協定を締結しました。

民生費では、越生町障がい者計画などに基づいて、福祉の増進に努めました。高齢者の自立支援や在宅福祉事業に取り組みました。

子育て支援策としては、こどもの医療費支給事業のほか、ベビーベッドの無料貸し出しなどを行いました。



衛生費では、空き家対策を進めるため、空き家対策計画

を策定しました。合併処理浄化槽維持管理費や住宅用太陽光発電設備に対する補助を行いました。

妊婦タクシー利用料金助成事業や自主的・継続的に健康づくりが実践できるよう健康づくりマイレージ事業も行いました。



農林水産業費では、梅やゆずなどの特産品を周知し、地産地消を進める地産地消支援事業、市民農園の開設に対する補助事業を実施しました。また、国の交付金を活用して、おごせ6次産業化パワーアップ加速化総合対策事業を行いました。

商工費では、商工業の振興発展を図るため、商工会事業に対して補助金を交付しました。

大型観光案内図の改修、ハ

イキングコースマップの作成など観光整備を行いました。



土木費では、主要道路や生活関連道路の整備を進めました。人口減少社会に対応したコンパクトシティを実現するための立地適正化計画の基礎調査などを行いました。

教育費では、国の補助金を活用し、越生中学校ランチルーム耐震補強・大規模改修の工事を実施しました。このほか、3か年計画で行われた文化財解説板等設置事業が完了しました。

今後も、財源の確保と支出の見直しを進め、効率的な行政運営に努めていきます。また、活力ある越生を創るため、魅力あるまちづくりと住民福祉の向上のための施策を進めていきます。



町税の内訳 (1人あたり)

固定資産税	56,004円
町民税	51,327円
町たばこ税	5,231円
軽自動車税	2,720円
町民負担額	115,282円

	決算額	構成比	1人あたり
①民生費	13億3,177万円	32.6%	112,272円
②総務費	5億7,849万円	14.1%	48,768円
③土木費	5億 81万円	12.2%	42,220円
④教育費	4億2,145万円	10.4%	35,529円
⑤衛生費	3億2,476万円	7.9%	27,378円
⑥消防費	2億5,551万円	6.2%	21,540円
⑦公債費	2億2,822万円	5.6%	19,240円
⑧農林水産業費	1億7,868万円	4.4%	15,063円
⑨その他	2億7,148万円	6.6%	22,887円
合計	40億9,117万円	100.0%	344,897円

	決算額	構成比
①町税	13億6,747万円	31.1%
②繰越金	3億 547万円	6.9%
③分担金・負担金	1億7,057万円	3.9%
④使用料・手数料	4,407万円	1.0%
⑤その他	9,380万円	2.1%
⑥地方交付税	11億8,526万円	26.9%
⑦国庫支出金	4億7,862万円	10.9%
⑧町債	2億3,513万円	5.3%
⑨県支出金	2億3,735万円	5.4%
⑩その他	2億8,484万円	6.5%
合計	44億258万円	100.0%

自主財源
19億8,138万円
(45.0%)

依存財源
24億2,120万円
(55.0%)

※水道事業会計の資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額671.8万円は、過年度分損益勘定留保資金で補てんしました。

	歳入	歳出	差引額
総 額	77億7,801万円	72億6,922万円	5億 879万円
一般会計	44億 258万円	40億9,117万円	3億1,141万円
特別会計	30億5,449万円	28億1,708万円	2億3,741万円
公平委員会特別会計	32万円	19万円	13万円
農業集落排水事業特別会計	2,364万円	2,181万円	183万円
国民健康保険特別会計	18億9,253万円	17億8,293万円	1億 960万円
介護保険事業特別会計	10億1,057万円	8億8,887万円	1億2,170万円
後期高齢者医療特別会計	1億2,743万円	1億2,328万円	415万円
水道事業会計	収益的収支	2億9,379万円	2,715万円
	資本的収支	6,718万円	△6,718万円

会計別決算

健全化判断比率等

健全化判断比率

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
越生町	-	-	3.2	9.5
早期健全化基準	15.0	20.0	25.0	350.0

資金不足比率

特別会計名称	資金不足比率	特別会計名称	資金不足比率
農業集落排水事業特別会計	-	水道事業会計	-
経営健全化基準	20	経営健全化基準	20

健全性を示しています。
(経営) 健全化基準を下回り、健全化に関する比率を算出しました。
健全化判断比率と資金不足比率は、いずれの指標も早期(経営) 健全化基準を下回り、健全性を示しています。

健全化判断比率と資金不足比率は、いずれの指標も早期(経営) 健全化基準を下回り、健全性を示しています。

經常収支比率の推移



財政力指数の推移



しかし、他の指標である經常収支比率は87.4%で依然として高い数値にあり、財政の硬直化が懸念されます。また、1.000に近いほど財政に余裕があることを示す財政力指数は、0.540と低水準にあり、厳しい財政状況が続いています。